

こども家庭センター（心理職）

こども家庭センター心理職の役割は、職場によって様々です。本研修では、どの現場でも活用できる知識とスキルを学びます。

日 程

令和6年9月30日（月）

9時から17時まで（途中昼休憩等あり）

対 象

こども家庭センター、児童相談所に勤務する心理職
子ども家庭福祉行政に携わる職員、教育等に係る職員【定員50名程度】

場 所

特別区職員研修所（東京区政会館別館）（千代田区九段北1-1-4）

カリキュラム

トラウマインフォームドケア（TIC）の実践的治療フレームワークについて学び、地域での家族支援に専門職としてどのように貢献できるかを考えていきます。

9月	時 間	教科目・講師
30日 （月）	9:00 ～ 13:00	○トラウマインフォームドケアとARCの枠組み 親子再統合、幼児グループ等のプログラムをもとに、トラウマインフォームドケアの一つである「ARCの枠組み（A：アタッチメント、R：自己調整、C：能力）」と、その実践について学びます。 《講師》伊東 ゆたか 氏 児童精神科医。医学博士。東京女子医科大学小児科、帝京大学医学部精神神経科、ハーバード大学医学部精神科、東京都児童相談センターなどを経て、2021年まで帝京大学医学部精神神経科病院教授。現在は児童養護施設、児童相談所、精神科クリニック等に勤務。
	14:00 ～ 17:00	○こども家庭センターにおける心理職の業務と役割 発達やトラウマなどの理解に加えて、こどもや家族の意見を踏まえたサポートプランの作成においても、こどもの言葉と心の声を聴き、言動の心理的背景も理解できる心理職がより一層役割を果たすこととなります。子どもの虹情報研修センターで行った全国調査の研究を基に、これからの展開も踏まえて学びます。 《講師》八木 安理子 氏 同志社大学 心理学部 客員教授。臨床心理士、公認心理師、特別支援教育士。 NPO 法人児童虐待防止協会執行理事、市区町村センターを支援するアドバイザー、西日本こども研修センターあかし企画評価委員等。
計		1日間（7時間） ※途中昼休憩等有り